

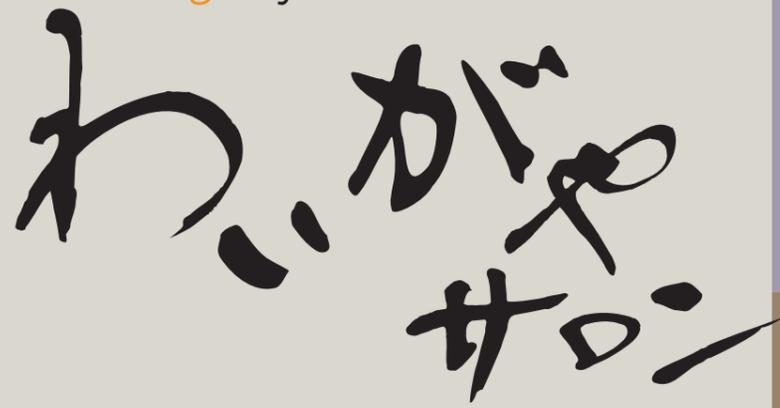


- 第1回 大河ドラマ「風林火山」をめぐって 平成18年9月19日  
講師/佐倉一徳さん NHK長野放送局企画総務部副部長  
樋口 博さん 長野市産業振興部観光課課長
- 第2回 もっと楽しくて、元気な街づくりを 平成18年10月23日  
講師/久米えみさん ながのクラッセ会長  
樋口敦子さん ながのまちづくりカフェメンバー
- 第3回 スポーツによる街づくりを 平成18年11月21日  
講師/鷺沢幸一さん アスレながの事務局長  
室賀 豊さん 長野市アイスホッケー協会理事
- 第4回 写真で見る長野の街並み 平成19年1月23日  
講師/清水隆史さん フォトグラファーほか  
常盤昭二さん CMディレクター
- 第5回 健康と美容を保つために 平成19年3月22日  
講師/虎羽里(トラバリ)ゼーラさん アーユルヴェーダ・健康セラピスト
- 第6回 環境と街づくり ばていお大門・TOiGOの設計に参画して 平成19年4月23日  
講師/竜野泰一さん 株式会社エーシーエ設計 取締役副社長 [一級建築士]
- 第7回 信濃グランセローズの挑戦 平成19年5月21日  
講師/木田 勇さん 信濃グランセローズ監督
- 第8回 スポーツマンシップの大切さ 平成19年8月29日  
講師/荻原健司さん 参議院議員・五輪金メダリスト
- 第9回 トウガラシの尽きせぬ魅力/「農」による地域活性を探る 平成19年10月24日  
講師/松島憲一さん 信州大学大学院農学研究科 准教授
- 第10回 命のバトンを渡す「ビオトープ」/長野市をビオトープネットワークシティに 平成19年11月14日  
講師/松岡保正さん 国立長野工業高等専門学校 環境都市工学科教授
- 第11回 簡単・おいしい・オシャレ/わたしのレシピができるまで 平成20年3月26日  
講師/浜このみさん クッキング・コーディネーター
- 第12回 あなたのからだは「築何年」ですか? 平成20年7月14日  
講師/角本浩二さん バランスアドバイザー 長野県健康管理士会会長
- 第13回 アメリカ生活で感じたあれこれー変化に対して前向きになることの大切さー 平成20年8月19日  
講師/針谷友久さん 東京中小企業投資育成株式会社 主任(長野県担当)
- 第14回 市役所第一庁舎及び長野市民会館の在り方を考える 平成20年9月16日  
講師/水野守也さん 長野市総務部次長 兼庶務課長
- 第15回 長野バルセイロ ---- 優勝報告&JFL昇格への挑戦 平成20年10月29日  
講師/バドウ・ピエイラ監督、薩川了洋コーチ、貞富信宏キャプテン
- 第16回 農業再生とブランド化 平成20年12月3日  
講師/町田良夫さん 社団法人長野市農業公社 常務理事
- 第17回 地上の楽園は馬の背にあり 平成21年2月18日  
講師/中山 修さん 中山法律事務所 弁護士
- 第18回 循環備蓄型の農業の実践 --- 宇宙のリズムにあった農業で一次産業の再生を試みる --- 平成21年6月3日  
講師/塩澤研一さん (財)いのちの森文化財団副理事長 (株)水輪ナチュラルファーム代表取締役
- 第19回 郷土を包む「おやき」 平成21年7月14日  
講師/小出陽子さん (同)ふきっ子のお八起 代表/信州おやきブランド化委員会 研究会リーダー
- 第20回 信州の伝統から生まれる食文化 ー漬物の新しい風ー 平成21年9月2日  
講師/宮城恵美子さん (有)宮城商店専務取締役/木の花屋
- 第21回 飯綱高原を、もっと住みよく、おもしろく! 平成21年11月24日  
講師/志村雅由さん NPO法人 飯綱高原よっころしよ/代表理事

- 第22回 JFL昇格に向けて 平成22年3月17日  
講師/薩川了洋さん AC長野バルセイロ新監督
- 第23回 先人の知恵を受け継ぐ〜トチの実、雑穀、あんぼ〜 平成22年5月25日  
講師/石沢一男さん (有)田舎工房 代表取締役
- 第24回 3度目でつかんだオリンピック出場 平成22年7月28日  
講師/新谷志保美さん バンクーバーオリンピック代表 (株)竹村製作所 勤務
- 第25回 逃げないスケルトン ～夢と感動と勇気を～ 平成22年9月15日  
講師/越 和宏さん スケルトン競技3大会オリンピック日本代表 (株)システックス所属
- 第26回 Go to J〜Jを長野にーいよいよ地域決勝大会!〜 平成22年10月25日  
講師/鈴木政一さん 長野バルセイロ・アスレチッククラブ強化本部長
- 第27回 グランドデザインの視点で「信州の食」を考える 平成22年11月30日  
講師/千村尚司さん 千村ブレイン代表 ソムリエ
- 第28回 ご利益のある町づくり 平成23年1月26日  
講師/川崎史郎さん フリーライター 市民記者ネット代表
- 第29回 防災と危機管理 平成23年6月1日  
講師/安藤長一さん 篠ノ井消防署署長、緊急消防援助隊長長野県隊長(第二次派遣隊)
- 第30回 江戸のエコロジスト 一茶 平成23年8月30日  
講師/マブソン青眼さん 俳人・比較文学者
- 第31回 Waを生かしたまちづくり 長野はもっと元気になる 平成23年9月28日  
講師/井上裕子さん 信濃毎日新聞社編集局地域活動部長・編集委員
- 第32回 メディアから見た長野 平成23年10月19日  
講師/田幸淳男さん 信越放送取締役相談役



**NUPRI**  
Nagano Urban Policy Research Institute  
NPO法人 長野都市経営研究所  
〒380-0834長野市大字鶴賀問御所町1289-1丸本ビル2F  
TEL.026-235-7911 FAX.026-235-6166  
www.nupri.or.jp  
e-mail:nupri@nupri.or.jp



# 通信

Vol. 33  
2012.2



## 第33回

## 旅の楽しさと長野の魅力で世界をむすぶ。

平成24年1月31日(火) 18:00~20:00

講師／飯室織絵さん 観光客向けゲストハウス「1166バックパッカーズ」運営

■座長 岩野 彰 場所／NUPRI事務所 TEL.026-235-7911

わいがやサロン2012年のテーマは長野新幹線の延伸を見据えて「観光」です。第1回は、2010年秋より善光寺門前の西町に観光客向けゲストハウス「1166バックパッカーズ」を営んでいる飯室織絵さんをゲストにお迎えしました。聞き手は鈴木隆治理事です。

## 海外&amp;上高地で観光に携わった後、長野へ

— 大学卒業後、仕事を海外に求めたのは？

学生時代は水族館での案内業などのアルバイトをしていました。働きたい会社の面接までの過程が複雑で道のりの遠いいわゆる就職活動では、自分の熱量が奪われていく気がして、卒業後はカナダへ渡りました。カナディアンロッキーの東の玄関口・バンフ国立公園で日本人観光客を案内する現地ガイドとして2年間働きました。その後、いろいろな角度から「観光」を見てみたい、とオーストラリアへ渡り、日本人観光客向けの情報紙の編集に携わりました。

— その後、帰国。上高地のホテルで働かれたそうですね。

自然豊かな国で数年生活をした結果、日本でもきちんと四季を感じられる場所で働きたいと思いました。そのころにインターネットで求人情報を見ていたら上高地のホテルでの募集が目になりました。

— では、もし北海道とか別のところがトップだったらそちらに行っていた？

そうかもしれません。情報発信の場所を持ちたいと思っており、宿でしたらある程度の経験もあるので生計を立てていけるのでは？と思うようになりました。松本駅近郊に住んでいたこともありますので、松本市で物件を探したこともあるのですが、長野市の若い方々との繋がりができてきたり、また「長野市でやるなら手伝えるよ」という声もいただき、長野市も候補に入れるようになりました。

統計を見てみると松本市は夏場の観光客は多いけれど冬は減る。長野市は松本市と比較すると全体の数は多くはないが年間通して安定している。ゲストハウスはまだ日本人にはなじみが薄いので外国人観光客をどれだけ取り込めるかも重要。東京からのアクセスも長野のほうがいい…宿は長野市で始めようと決めました。

## 築60年の空き家をゲストハウスに

— 私、実は不動産業なんですけど、西町の物件に行き当たったのもインターネットですか。

いえ、ナノグラフィカさん(編集企画室/喫茶室/ギャラリー:西之門町)が第1回「門前空き家見学会」をするというので参加してみたのです。県外の人にとっては長野市のどこからどこまでが門前か分からず、そういった人にとってはまずアクセスのいい駅前に宿があるほうが最終的には門前まで人が流れるきっかけになるのではと思い、自分としては宿をやるなら長野駅の近くがいいと考えていたんですが、見せていただいた物件の立地や間取りからみて、開業がしやすい物件だったので大家さんに宿をやりたい旨を相談すると「面白いじゃない」と言ってくださり、家賃交渉にも応じてくれたのです。



いいむろ おりえ 1980年、兵庫県尼崎市生まれ。高校在学中に尼崎市交換留学生として海外初体験。国内外で観光に携わった後、2010年6月に長野市へ移り、10月開業

— (映像の)ペンキを塗っているのは飯室さんですよね(表紙イラスト)。

開業資金を抑えるためにも自分でできることはやりました。ペンキ屋さんだと勘違いされたご近所さんから「次はウチもやって〜!」と声をかけられたこともあります。その他にも簡易宿泊所として許可がおりるまで市役所や消防署、保健所、許可がおりてからは業者さんなど、今も多くの地元の方に助けてもらっています。

— 明確なビジョンをもってたから、相手に伝わって受け入れられたんですね。大家さんも消防署もゲストハウスと聞いても「??」と思ったと思いますが、ゲストハウスとは？

バックパッカーズホステルとも言い、数ヶ月などの長期にわたり個人旅行をしている人に使われることの多い宿です。1泊あたりが安いので、長く泊まれるという点ではユースホステルと似ていますが、ユースホステルのように会員制でなく、会則もありません。日本では京都、東京、沖縄ほか観光地にあり、長野にも数軒できています。本州には2500~3000円ほどのゲストハウスが多いですが、1166バックパッカーズも素泊まり・相部屋2600円という価格設定にしました。積極的に旅に出てほしいので滞在は長くと2週間。玄関から入ってすぐのラウンジに大きなテーブルを置いて、宿泊者同士が交流できるつくりをしました。

## 観光客からみた長野市の立地

— 利用者は何から1166バックパッカーズを知るのでしょう？

国内外ともにインターネットからの予約が多いです。外国人ゲストは去年の東日本大震災の後しばらくは減少したものの徐々に回復してきています。

バックパッカーズたちは一人旅が多く、低予算志向で、公共交通機関を使われる方が多いです。JRには、外国人向けに1ヶ月とか2ヶ月の乗り放題になる「ジャパンレールパス」というチケットがあるんです。ですから1166バックパッカーズを拠点にJRを利用して日帰り松本へ、東京へと遊びに行く人も多し。東京を拠点にするよりゆっくりと滞在できることを彼らは知っている。長野市はそういう意味でもアピールできる立地なんです。

— 新幹線が金沢に延びても、長野市を拠点に金沢へ、東京へという構図が可能ですね。

外国人が長野にやって来る一番の目的は？

うちは欧米やオセアニアのゲストが多いですが、彼らにとっては何とんでも地獄谷野猿公苑のスノーモンキーです。長野駅湯田中駅を往復して温泉も入れるお得なチケットがあるのですが、外国人の目に触れない。買い方を説明して送り返したはいいけれど、日本語がままならない彼らはうまく説明できず、窓口で映画のチケットを買ってしまったなんてことも。

世界を旅する人のための定番ガイドブック『ロンリープラネット』には、白馬や志賀高原も記載されていて、長野市から日帰りスキー、スノーボードへ行くゲストも多くいます。また善光寺さんや戸隠も取り上げられているので、英語の公式サイトはすぐにも作る必要があると思っています。

— 1166バックパッカーズは素泊まり。皆さん、食事はどうしているのですか？

外食する方には地元の食堂や蕎麦屋さんをご案内しますが英語メニューのあるお店を見つけるのには苦勞しています。自炊派にはスーパーや地元の食料品店をご案内します。キッチンには自由に使用していただけて、コーヒー等は無料です。入浴はシャワーですので、近くの銭湯情報もご案内します。

— 旅行者は長野文化・日本文化を体験でき、ご近所はお金を落としてもらえ、双方笑顔ですね。

旅の楽しみ方はさまざまですが、ガイドブックに載っていないところを見たい。どこに行った、何を食べたではなく、誰と行って、誰と食べたかに旅の価値を求める人が増えていると思います。

— 今夜は、旅の価値観・長野の観光のあり方について考えさせられました。有り難うございました。

「情報発信できる場所をつくりたい。ゲストハウスはその一つのかたち」と語った飯室さん。さらなる「良いムロ(室=物を入れたり育てたりする所)」を築いてください。



古い家並みが残る西町の通りに1166バックパッカーズはある

